

第70回 愛知学院大学モーニングセミナー

花粉症の治療

中村善久

名古屋市立大学耳鼻咽喉科



平成24年1月10日

アレルギーとは？

Allergy

allos(=other 変わった) + ergo(=action 作用)

反応しない-----免疫不全

反応する-----正常の免疫

反応しすぎる-----アレルギー(過敏症)

診断

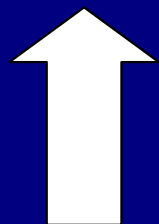
1. くしゃみ、水様性鼻汁、鼻閉
の症状がある

and

2. 次のアレルギー検査のうち、2つ陽性

- ・鼻汁中好酸球
- ・皮膚テストまたは血清IgE抗体
検査
- ・誘発テスト

くしゃみ



ヒスタミン

くしゃみ中枢
分泌中枢

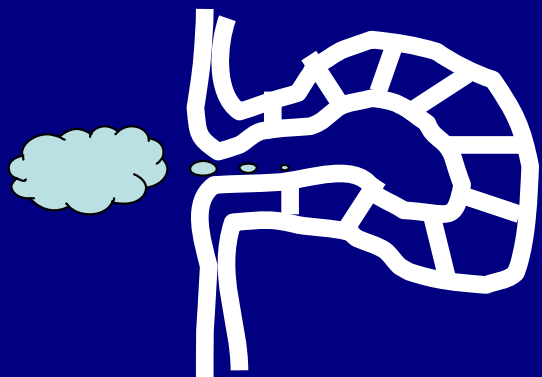


反射

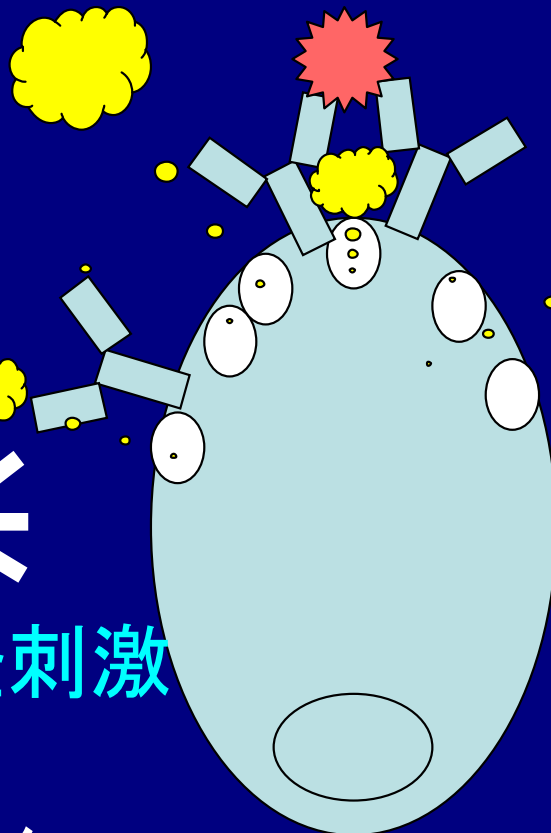


知覚神経刺激

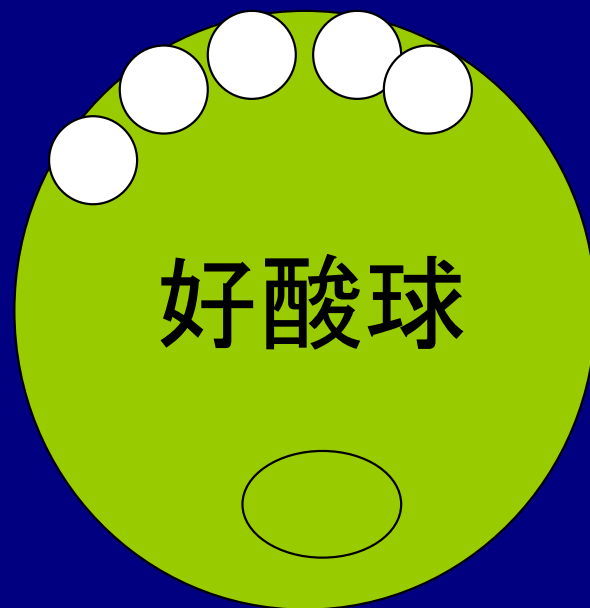
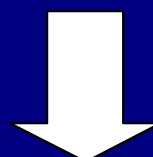
アセチルコリン



水様性鼻汁



ロイコトリエン
トロンボキサン



好酸球

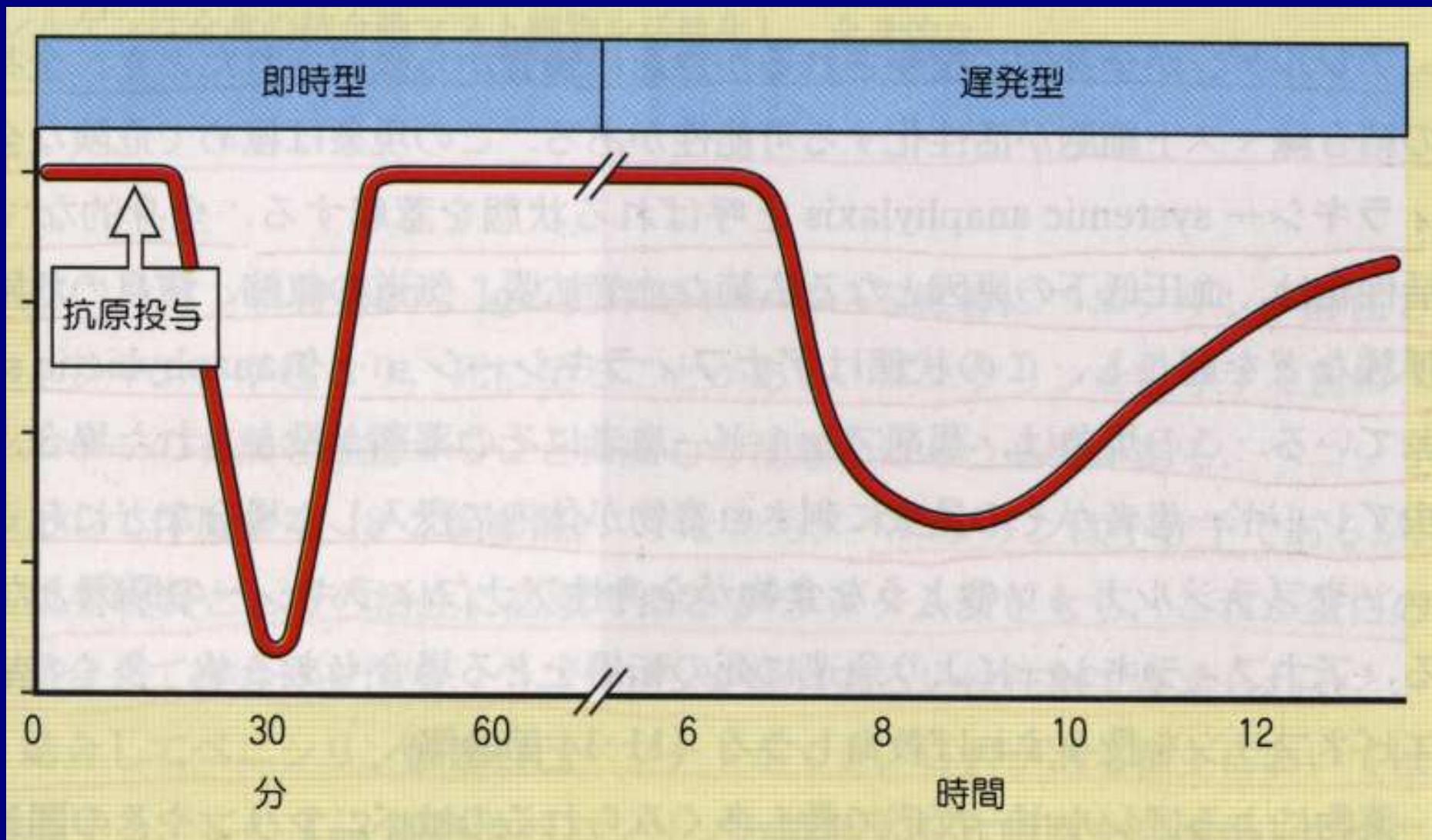
鼻閉 ← 浮腫 ← 炎症



起炎性物質



好酸球



即時相

ヒスタミンによる**反射**
(くしゃみ、鼻汁)



遅発相

好酸球による**炎症**
(鼻閉)

くしゃみ

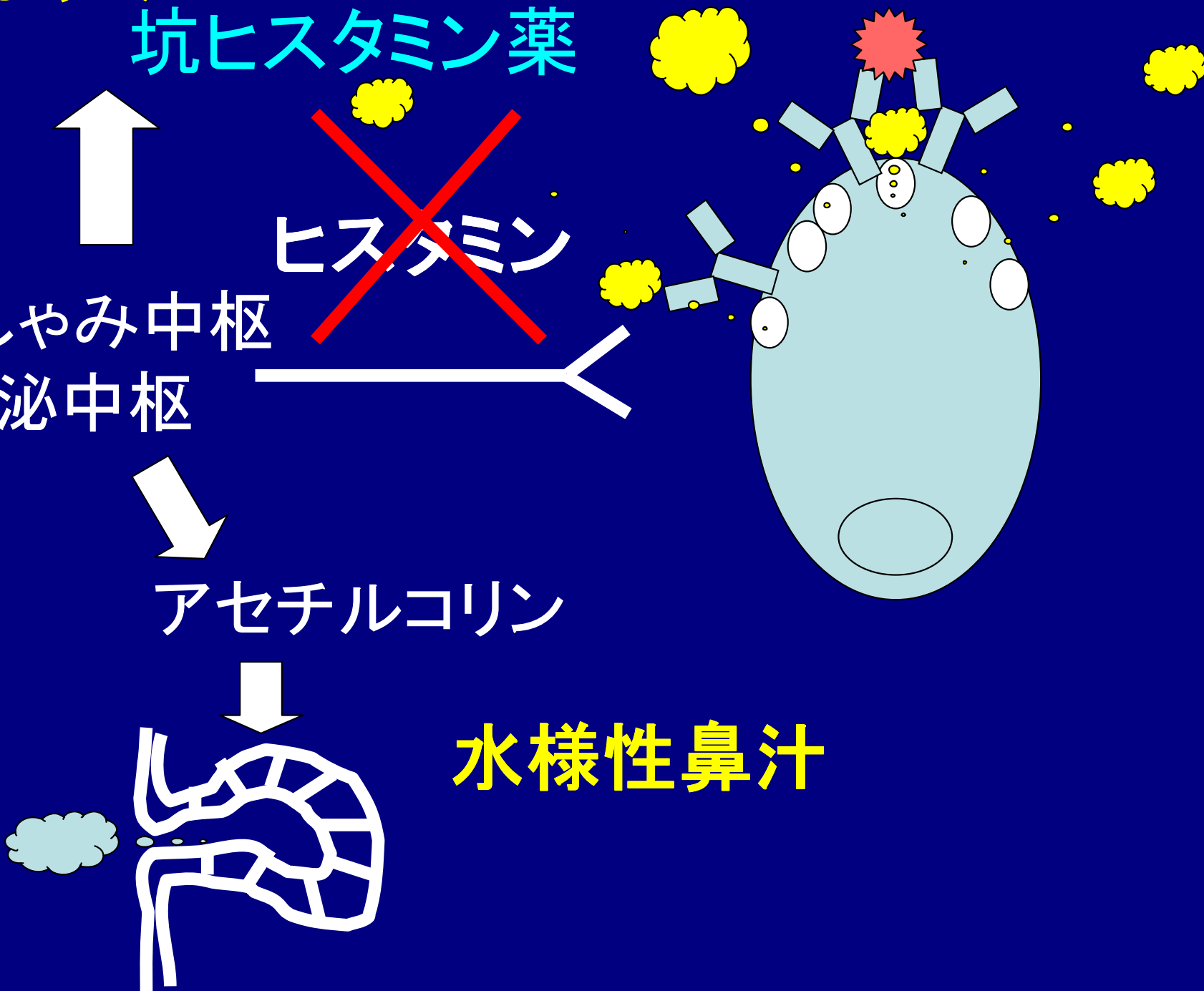
抗ヒスタミン薬

~~ヒスタミン~~

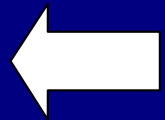
くしゃみ中枢
分泌中枢

アセチルコリン

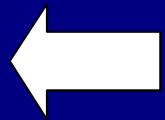
水様性鼻汁



鼻閉



浮腫

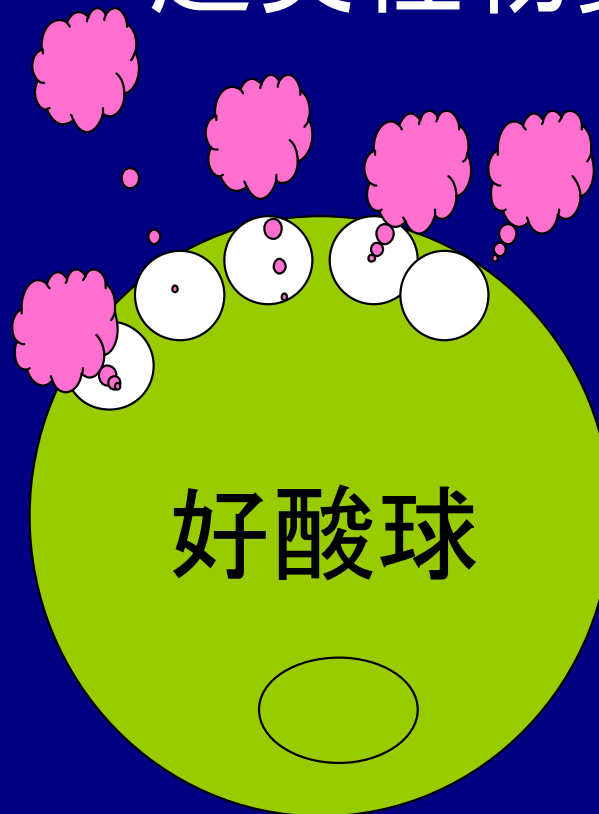


~~炎症~~

ステロイド

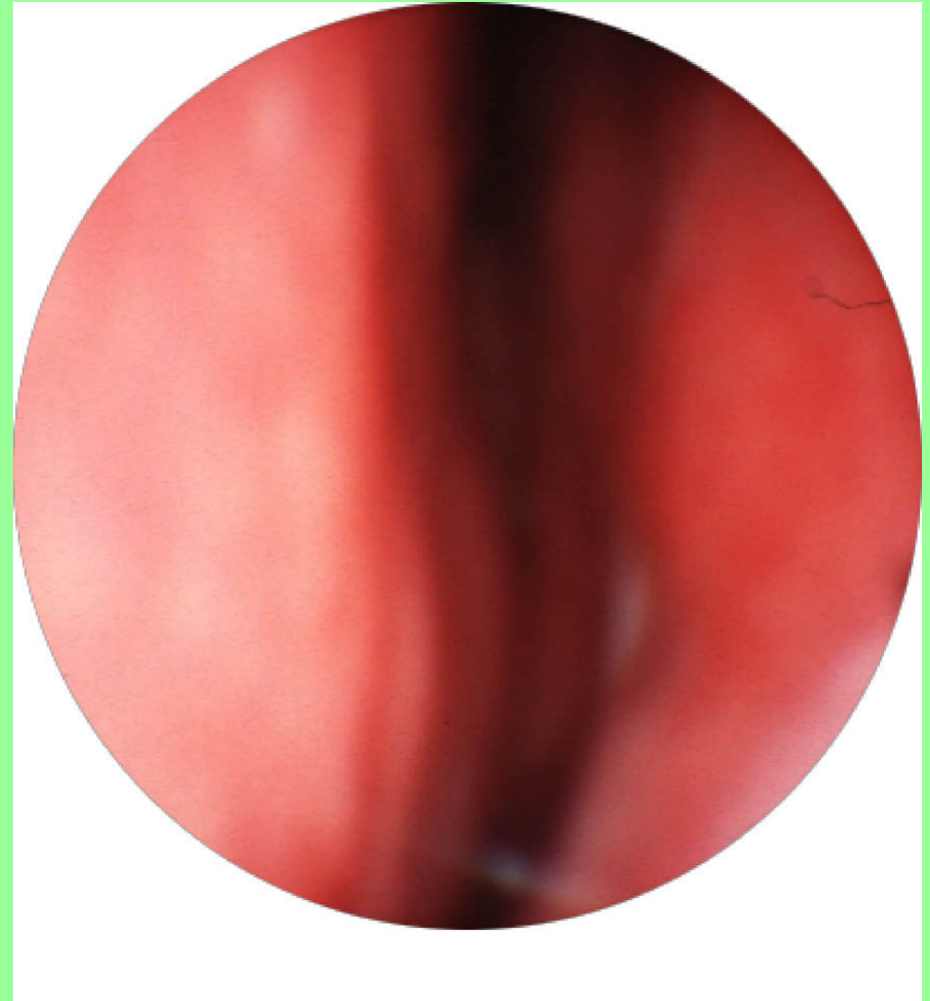


起炎性物質

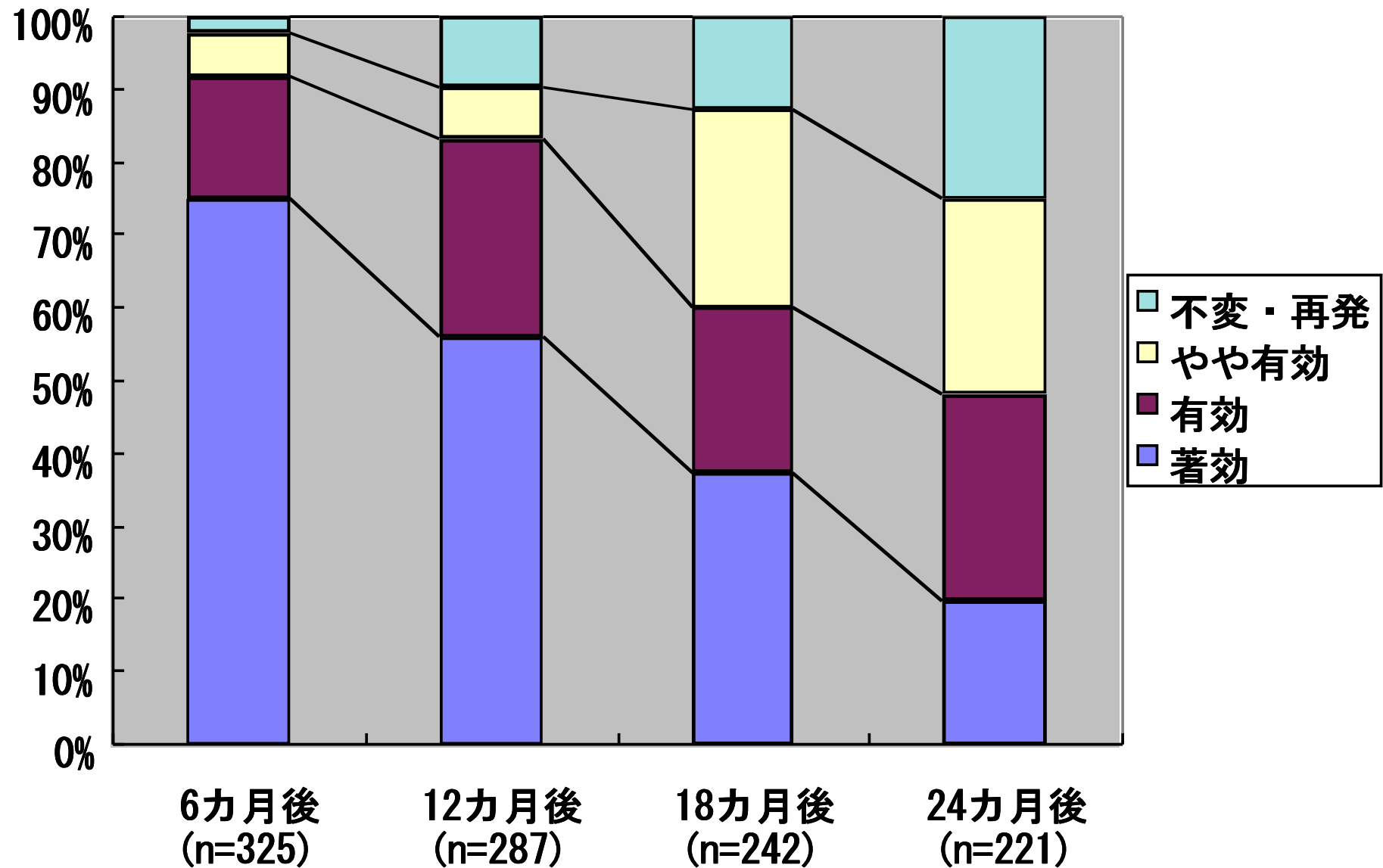


手術

レーザー手術 下鼻甲介切除術



自覚症状の継時的経時的変化



減感作療法

唯一の根治療法

低濃度の抗原液(注射)から始めて、徐々(1.5倍)に濃度を上げる。(皮疹<5cm、副作用なし)

維持量に達してから、効果がでるまで(2回/月)
その後、3-5年(1回/月)

副作用: アナフィラキシーショック

アレルギーマーチ

年齢とともに様々なアトピー疾患が発症してくる

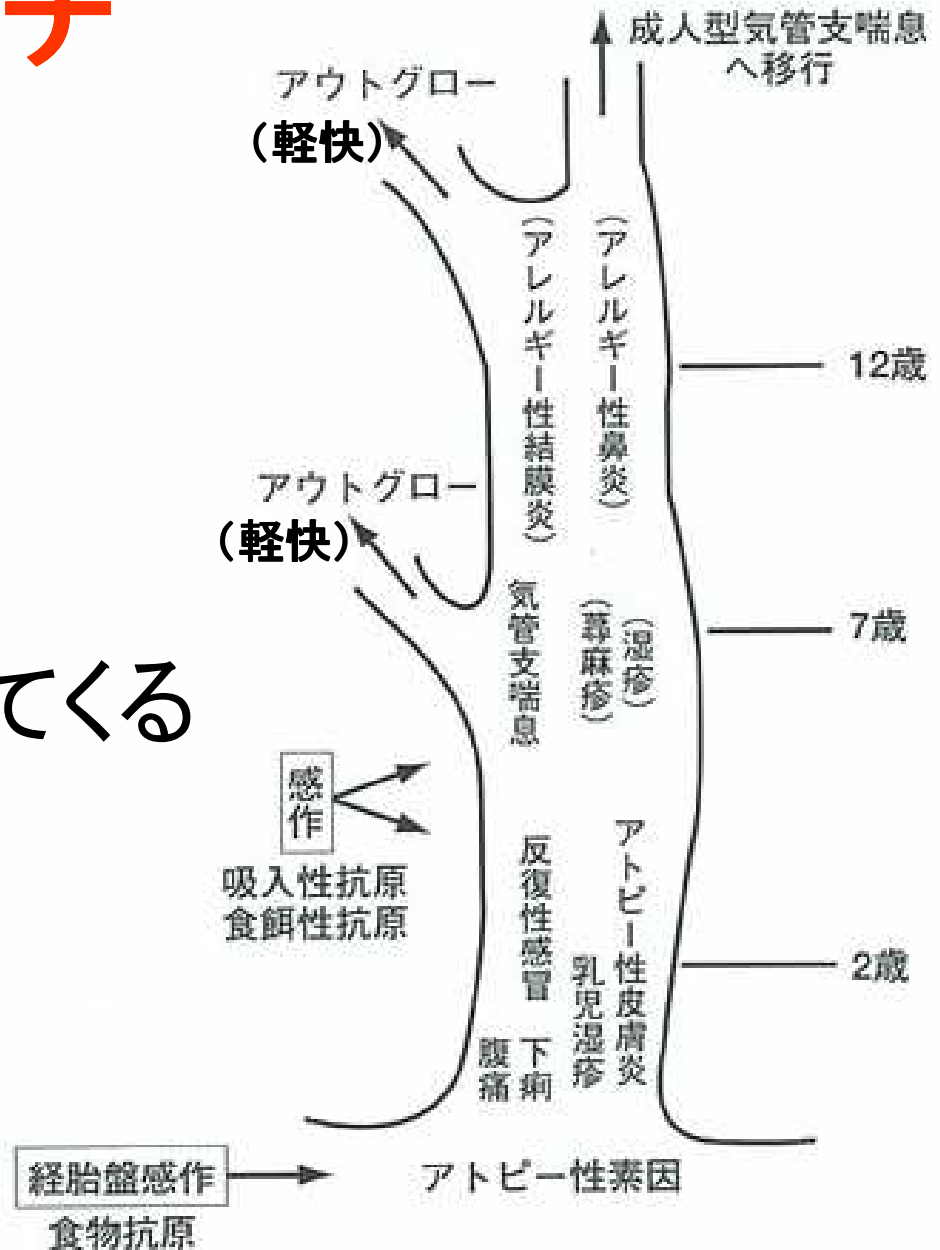
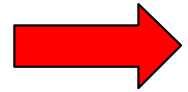


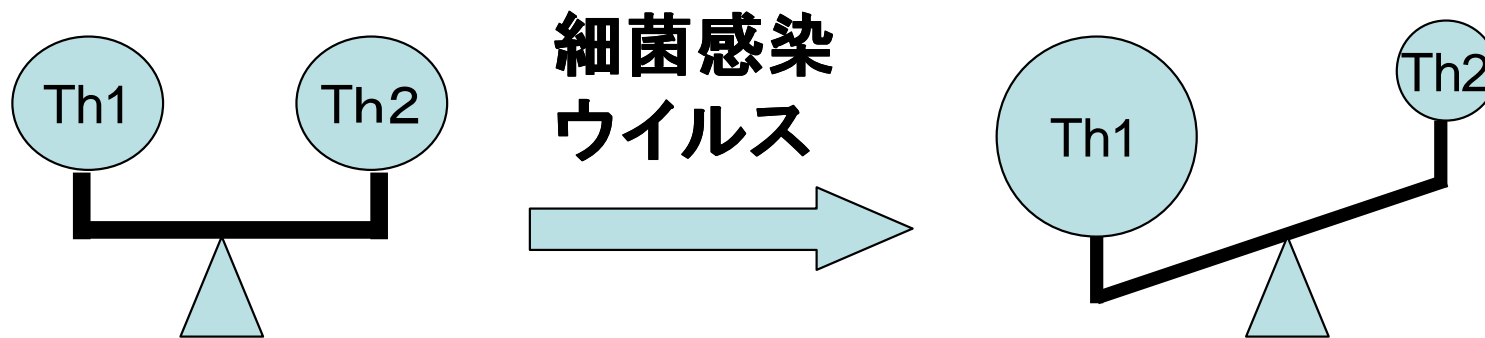
図 アレルギーマーチ(馬場)

生活環境がアレルギーに及ぼす影響



清潔な環境（下水道の完備、抗生物質などの普及）では細菌などの感染の機会が少なくなりTh1が誘導されにくくなる？

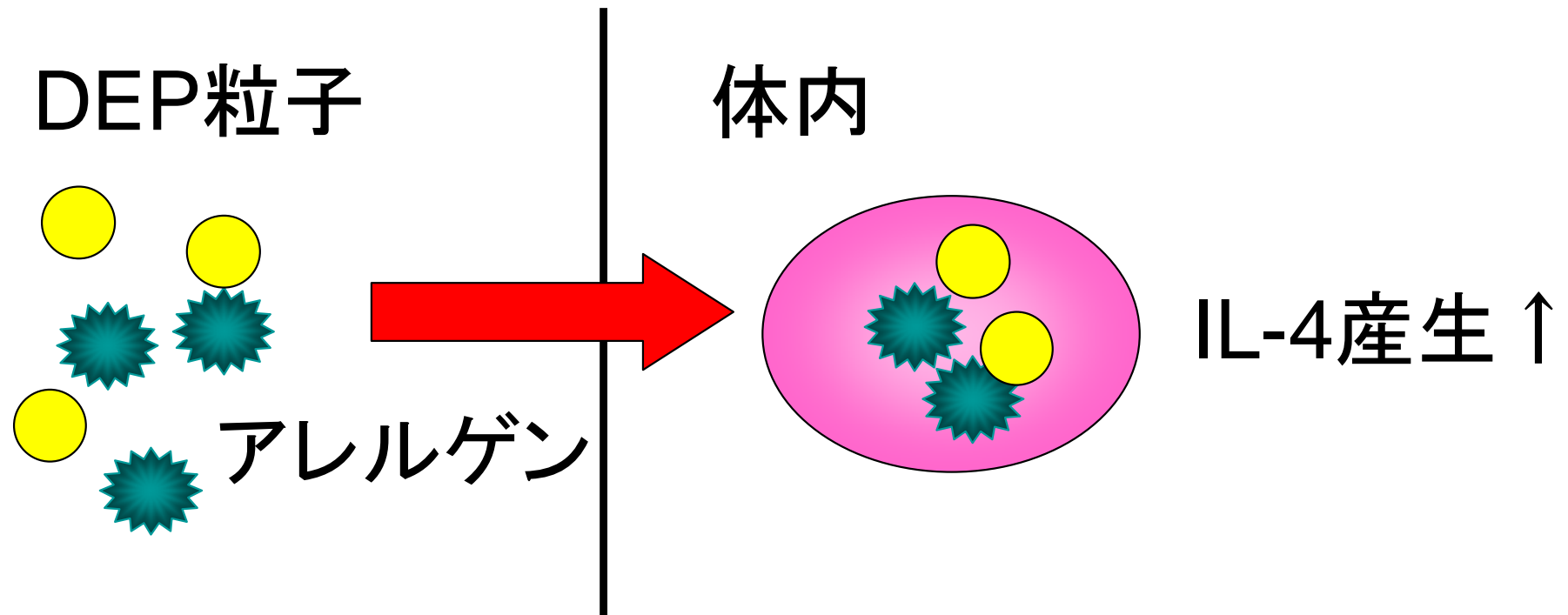
ツベルクリン(結核)



→ Th2を誘導しにくくなる？

ディーゼル粒子 (DEP) の影響

抗原 (アレルゲン) とともに体内に取り込まれる際、アジュバント (免疫強化物質) の働きをすることが示唆されている。



アレルギー体質は遺伝する？

～ある程度の関与はあると考えられる～

→ 単一遺伝子疾患ではなく、多因子疾患
(複数の遺伝子が関与する)と言われている

花粉の飛散予測

1. 夏の気象による予測

- ・花粉は夏に作られる

夏の最高平均気温
夏の平均日射量
梅雨時期の降水量(逆相関)
夏の湿度(逆相関)

2. フィールド調査

- ・秋の雄花着花数を実際に数える